

# 環境報告書

2023 年度版



nanotech

株式会社ナノテック

# 環 境 報 告

## トップメッセージ

2050 年を目指して温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現には、今後は国や自治体、事業者だけの問題ではありません。個々の人々が環境への意識をもって取り組んでいく必要があります。

ナノテックにおきましても、温室効果ガス排出量を削減するために、エネルギー生産性の改善や資源の有効利用度を示す資源効率性向上を考え、環境破壊防止、吸収作用の保全及び強化など“地球環境に対する貢献度”という視点での取り組みをより一層進めてまいります。

次の世代も安心して暮らせる持続可能な経済社会をつくるため、今からカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現、そして SDGs の環境保全に向け、出来ることから積み上げていきます。

2005 年度からは大和市の『やまと環境活動評価プログラム』参加企業として、『やまとエコアクション 21』への認証登録を継続しています。

(大和市ホームページ/環境/やまとエコアクション 21 に登録認証事業所として紹介掲載中)

また、2006 年 12 月に品質マネジメントシステム国際規格『ISO9001』を取得して以来、2021 年には ISO9001:2015 年版の再認証審査を無事終え、現在も継続して登録しております。製品の品質及び社内環境におきましても、より一層の向上を目指し、努力推進してまいります。

## 環境基本理念

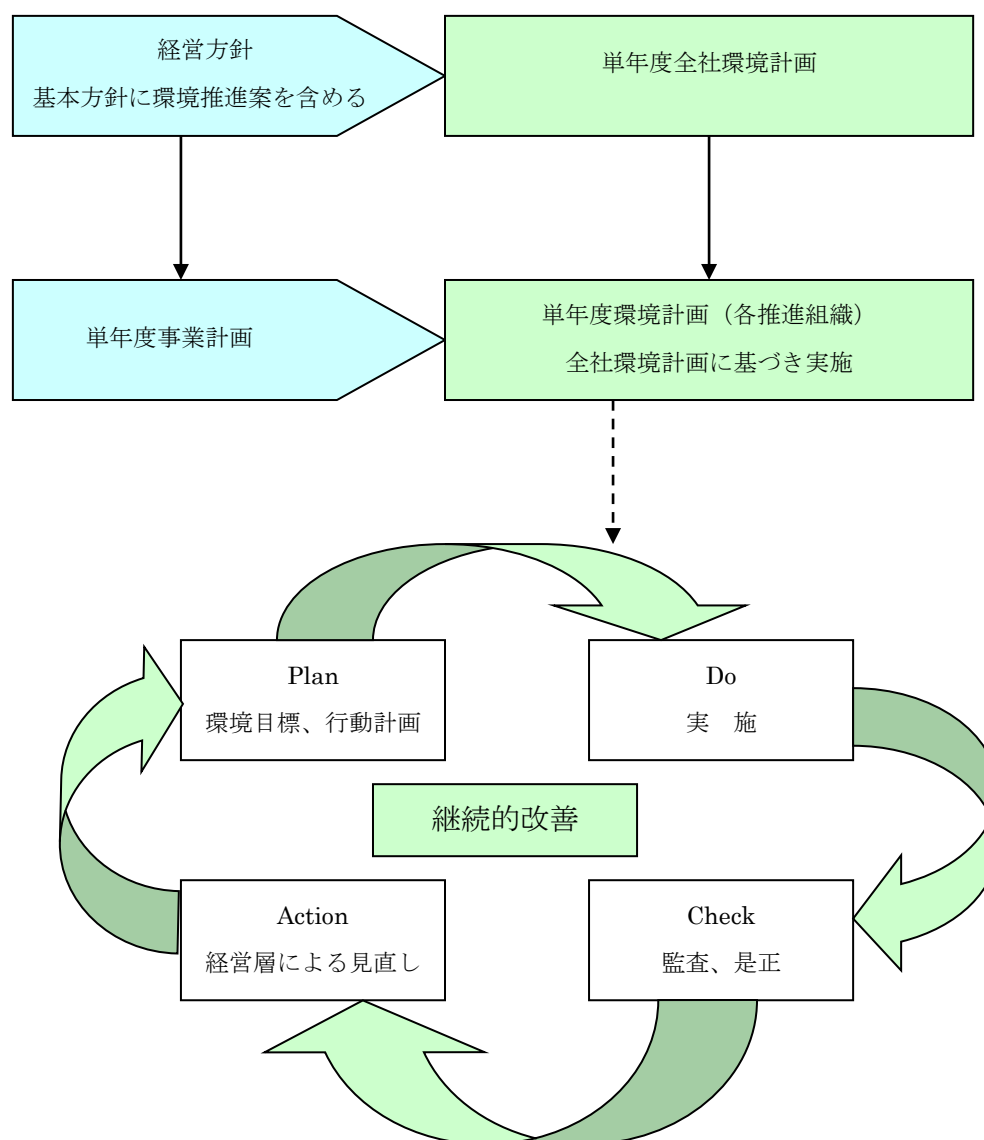
“全社員の創意と工夫で『人と地球に優しい企業』を目指します”

## 環境基本方針

1. 環境管理活動の基本文書を作成し、環境管理システムの向上を図る。
2. 技術的、経済的に可能な範囲で環境目標を設定し、環境活動の見直しや改善を行い、継続的実績向上を図る。
3. 環境技術の向上に努め、製品の下記環境負荷低減活動を実施する。
  - ◆設計改善による消費電力の低減
  - ◆グリーン調達基準書を定め、設計部品の有害規制物質の減量及び不使用
4. 省資源、省エネルギー、リサイクル及び廃棄物削減等の観点から以下の環境問題に努め、地域社会との調和を図る。
  - ◆コピー用紙、新聞等の紙類及びカン、ビン、ペットボトル等の廃棄物の分別作業を行い、再資源化を推進
  - ◆社内の設備及び照明の省エネルギー、節電等を継続的に実施
  - ◆鉛フリー化を実施
5. 全社員への環境教育を実施し、環境保護と生活スタイルの意識向上を図る。
6. 協力会社に対して、物資のグリーン調達(環境負荷の少ない製品や部品・材料等を優先的に購入)の実施と協力を推進する。社内の設備及び事務用品等もグリーン調達を原則として環境保護に努める。
7. 環境方針はインターネットにて公表する。



## 環境マネジメントシステム



## 環境管理組織

ナノテックの環境管理組織は、事業計画に基づいて円滑に環境対策を推進するために、環境統括役員を頂点として、これを補佐する環境管理責任者（環境対策委員長）の下に環境委員が実務責任者として組織されています。

## 環境教育

環境問題への取り組みは、従業員ひとりひとりが幅広い知識を持ち、個々の役割の中で実行していくことが重要です。当社では、環境マネジメントシステム（環境対策委員会）において全社員を対象に教育を実施します。

今後は、これらの教育をより効果的に、全社の環境教育体系の整備を推進していきます。

## 環境監査

当社では、環境マネジメントシステムの運用状況をはじめ、環境目的・目標の達成状況、環境関連法規制および自主基準の遵守状況、環境リスク対策状況をチェックするために、監査結果『環境行動計画書』（年1回）に報告（環境への負荷の現状）及び年度目標（環境への負荷低減の目標）を掲げ、大和市の『やまとエコアクション 21』の参加企業として認証登録を受けています。

## 監査基準

| 監査の種類          | 監査基準                     |
|----------------|--------------------------|
| 環境マネジメントシステム監査 | 各部門マニュアル、規定、手順等の標準類の遵守状況 |
| 環境パフォーマンス監査    | 環境目的・目標の達成状況および環境マネジメント  |

監査については、さらなる環境パフォーマンス（成果）の向上と環境リスクの未然防止に主眼をおいた内容となるよう、見直しを行って行きます。

## 省エネルギー、省資源の管理

環境保全活動の一環として、地球温暖化抑止のための省エネルギー対策の実施及びエネルギーの効率的な使用活動を実施しております。

1. 空調設備の設定温度適正化
2. 休憩時間中の一部消灯
2. 不要設備の電源オフ
4. ペーパーレスの推進
5. 節水の実施
6. 『スーパークールビズ』導入
7. エコ環境用紙の購入、スキャナー導入によるデータの電子保管  
(ペーパーレス化推進)

## 廃棄物管理

環境保全活動の一環として、企業活動に伴い排出される廃棄物を分別し、リサイクルを推進しています。

＊コピー用紙、新聞等の紙類及びカン、ビン、ペットボトル等の廃棄物の分別作業によってリサイクルの徹底と再資源化を実施

## 化学物質管理

取引先の『グリーン調達ガイドライン』に基づき、化学物質管理基準のランクAとBにて管理しております。洗浄剤として使用していた有害物質は既に撤廃しました。

新たに化学物質を使用する場合は、事前調査を駆使し、環境保全に向けた取り組みを行っています。

## 大気汚染防止

運搬車両等を使用する場合は、エコカー減税対象車を採用し、大気汚染の削減に努めます。



## 包装材、梱包材等の管理

梱包材は、取引先の下承のうえで簡素化し、リサイクルが可能な場合は回収して再利用します。協力会社とは通い箱で管理します。

## グリーン調達活動の推進

当社では、グリーン調達基準(化学物質管理基準のランク A と B で管理)を定め、製品の使用や廃棄における環境負荷軽減のために、設計の初期段階から小型化や省電力化、有害物質の不使用等により、多くの皆様にご満足いただけるよう推進します。社内の事務用品、備品、計測器等においてもグリーン調達を実施します。

以上



## 2023 年度の環境推進報告

当社の環境基本方針に基づき、継続的に環境活動を実施いたしました  
2023 年 11 月に『やまと環境活動評価プログラム』参加企業として  
『やまとエコアクション 21』の認証登録が継続されました

1. 環境技術の向上に努め製品の環境負荷低減活動を下記の通り実施した。
  - 1-1 新規設計製品の部品 100%グリーン化を推進するため、標準グリーン部品のデータベース構築を完了し、登録部品の強化及び充実を推進中
  - 1-2 100%グリーン部品化した受注製品、自社製品を継続出荷中
  - 1-3 設計改善による製品の消費電力の 10%低減を継続推進中
  - 1-4 設計部品の有害規制物質の減量及び不使用を継続推進中
  - 1-5 新規製品の鉛フリー化を優先的に実施、継続推進中
  - 1-6 鉛フリー化の N<sub>2</sub> system(窒素ガス)半田づけ装置の導入
  - 1-7 品質及び環境のためアウトソースしたプロセスの管理を強化推進中
  - 1-8 部品品質保持及び環境のため金属、電子部品の酸化防止用包装システムを採用推進中
  - 1-9 製品の排熱効率化の改善設計を推進中
  - 1-10 部品検索システム導入による仕事の効率化による環境負荷低減化を採用推進中
2. 省資源、省エネルギー、リサイクル及び廃棄物の削減を実施した。
  - 2-1 社内のコピー用紙は両面使用を徹底及び書類の電子化、継続推進中
  - 2-2 社内の設備及び照明、エアコンの省エネルギー、節電を実施推進中
  - 2-3 廃棄物の分別作業の徹底及び IC トレイ再利用の回収協力推進等、リサイクルによる地域社会との調和を継続推進中
  - 2-4 社内設備及び事務用品は環境保護のため、グリーン調達を原則とした購入を実施推進中



## 環境負荷 CO2 の削減報告

2023 年度は次のような結果となりました。2024 年度は 2020 年～2022 年までの平均値を基準として 2%低減することを目標とします。

|              |        | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 3 年間の平均 |
|--------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 二酸化炭素排出量(kg) | 電気使用分  | 22.39   | 20.78   | 23.93   | 22.37   |
|              | 自動車使用分 | 7656.00 | 6704.80 | 3410.40 | 5923.73 |

|              |        | 2023 年度 |
|--------------|--------|---------|
| 二酸化炭素排出量(kg) | 電気使用分  | 15.77   |
|              | 自動車使用分 | 5106.70 |

|              |        | 2024 年度（目標） |
|--------------|--------|-------------|
| 二酸化炭素排出量(kg) | 電気使用分  | 20.00       |
|              | 自動車使用分 | 7358.61     |

以上

2024 年 10 月 環境対策委員会



**nanotech**

**株式会社ナノテック**

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間四丁目 2 番 17 号 CRビル 2 階

TEL : 046-276-8402 FAX : 046-276-8403

URL : <https://www.n-tech.co.jp/>